

流域治水 シンポジウム



ひろしま 2025

広島県では、近年、
平成30年7月豪雨や令和3年7・8月豪雨などにより
大規模な水災害が頻繁に発生しており、
みんなで被害を軽減させる取組が
必要となっています。

開催日時

12/2 火

14:10～17:00
(開場13:30～)

場 所

広島YMCA
国際文化センター

会場定員

200名



広島県

入場
無料

身近な治水・防災で未来の安心を育てる

当日のスケジュール

概要説明

14:15～14:30

パネルディスカッション

15:30～16:55

主催者

広島県の川づくりについて

広島県土木建築局長

藤田 士郎

テーマ 身近な「流域治水」と「防災」

ファシリテーター

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 教授
瀧 健太郎

基調講演

14:30～15:20

講演者

激甚化する気象災害
～正しく備える意識と知識～

気象予報士・防災士

関口 奈美

パネリスト

気象予報士・防災士

関口 奈美

広島工業大学学生防災士会

小串 紘也

国土交通省中国地方整備局

河川部 河川調査官

濱田 靖彦

海田南小学校教諭

出尾 森梧

サントリープロダクツ株式会社

天然水奥大山ブナの森工場

澤田 大

広島県土木建築局河川課長

水頭 顕治

講演者

できることから始めよう
小さな流域治水・小さな自然再生

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 教授

瀧 健太郎

主催：広島県

後援：国土交通省中国地方整備局

「流域治水」という言葉をご存じでしょうか？

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、行政だけでなく、川とともに暮らす地域住民や企業、関係者と協力し、流域全体で「水害に強い地域づくり」に取り組むという考え方です。今回のシンポジウムでは、「流域治水」や「防災」に関わる身近な取組について、様々な情報が展開されます。

講演者プロフィール



Kentaro
Taki

基調講演

ファシリテーター

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 教授

瀧 健太郎

京都大学大学院を卒業後、建設コンサルタントを経て、滋賀県庁やリバーフロント研究所などで河川・流域管理、国際交流、環境政策に携わる。2009年には神戸大学で博士号(工学)を取得。現在は、流域の水循環と社会システムとの相互関係に着目し、持続可能な流域社会の実現に向けた政策や計画に関する研究を進めており、流域政策・計画に関する学問分野の体系化を目指しています。行政での経験を活かし、科学的知見と政策実装を結びつける役割を果たし、教育・研究・社会貢献の各方面で活躍しています。



Nami
Sekiguchi

基調講演

パネリスト

気象予報士・防災士

関口 奈美

群馬県前橋市出身。早稲田大学を卒業後、NHK前橋放送局でキャスターを務める。その間、気象災害を目の当たりにしたことなどから、天気に関心を持ち、気象予報士を目指す。2010年に気象予報士の資格を取得し、翌年からウェザーマップに所属。テレビ東京で2年、NHK総合テレビで7年気象キャスターを担当した。現在は全国各地で講演などを行っています。

パネリスト



海田南小学校教諭
出尾 森梧



広島工業大学
学生防災士会
小串 紘也



サントリーブプロダクツ(株)
天然水奥大山ブナの森工場
澤田 大

シンポジウムへのお申込み

右記のQRコード及び下記の県HPからお申込みを受付しております。
項目に漏れなく記入の上、送信ボタンを押してください。



シンポジウム会場参加申込み締め切り

11月24日(月)17時まで

※先着順とし、定員になり次第、締め切ります。

録画配信について YouTube

シンポジウムの録画映像を
下記の県HPにおいて公開(1月頃予定)

流域治水シンポジウムひろしま 2025

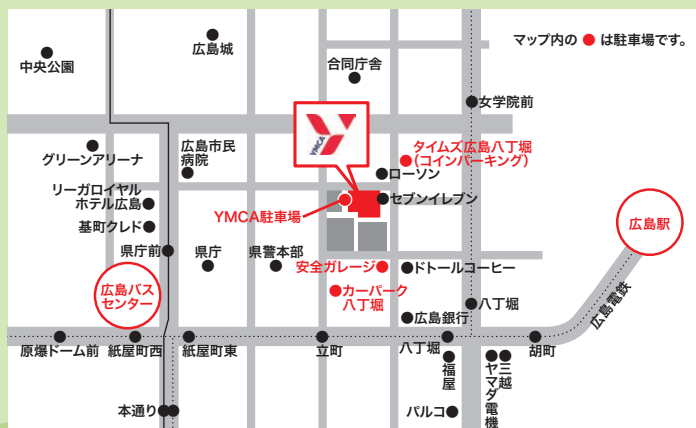
視聴
無料

検索

開催会場

広島YMCA 国際文化センター 本館地下1階:国際文化ホール

〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀7-11



お問い合わせ先 広島県 土木建築局 河川課 河川企画グループ

TEL:082-513-3929 FAX:082-227-2206 メール:dokasenska@pref.hiroshima.lg.jp